北海道砂川高等学校と看護科目の授業連携に関する協定を結びました

このたび、本校は北海道砂川高等学校との間で教育機能の連携強化に関する協定に調印しました。
これは、砂川高校の看護科目（単位制）における学習効果の向上を図ることとし、専門的かつ発展的な知識を提供し、生徒の学習に対する意欲と目的意識の向上を図り、強いては、生徒の進学に際して、砂川市立病院を中心とした地域医療の発展に寄与していただく環境をこの協定で強化するものであります。

調印式は３月 17 日、松原校長（砂川高校）、本校の岩木学校長を始めとする２校の関係者が出席し本校で行われました。





協定書に署名のあと、松原校長からは、「関係を深め内容のある授業にしていきたい」、岩木学校長からは「この協定を基礎に地元の高校生が地元で進学、就職するように期待したい」と挨拶がありました。